

障害のある子どもの教育に取り組んでおり、障害の有無に関わらず、個性を育てられる教員になるのが目標。大学では軽音楽部でベース担当。



鎌 綾香さん(松中)

小学校から祖母に習っている新舞踊をしていくのが大好き。将来は、結婚の手助けをするブライダル関係の仕事につきたい。



丹下真子さん(仁中)

休日は中学・高校からしているバスケットボールで汗を流している。消防士として、松原市を災害に強いまちにし、市民のために活動したい。



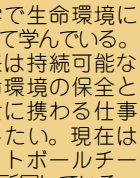
山内涼太さん(三中)

将来の夢は、消防士になるか小学生から野球をしているので、高校の教師になって野球を指導し、学生を甲子園に連れていきたい。



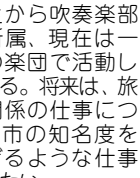
三木一浩さん(四中)

大学で生命環境について学んでいる。将来は持続可能な生命環境の保全と創世に携わる仕事がしたい。現在はソフトボールチームに所属している。



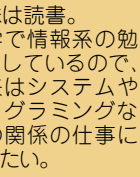
小林亮史さん(五中)

学生から吹奏楽部に所属、現在は一般の楽団で活動している。将来は、旅行関係の仕事につき、市の知名度をあげるような仕事がしたい。



福田千晴さん(六中)

趣味は読書。大学で情報系の勉強をしているので、将来はシステムやプログラミングなどの関係の仕事につきたい。



山本純平さん(七中)

■福田 周りの人に松原市出身と伝えると「松原市ってどこ？」と松原市って何もないよね」と言われます。松原市のおいしいものや楽しいところを、もっと市民以外の人にも知ってほしいと思います。松原市は学校も多く若者の数も多いと思いますが、若者が参加しようとする場所やイベントが少ない気がします。

■三木 小学生のときに、まちの中で、障害者の方がどれだけ使いにくいところがあるかということ、調べ学

■丹下 私は何事にも元気が一番だと思つし、元気なまちは良い方向に進んでいくと思つています。現在、高齢社会になっていて、私は元希者(高齢者)の方で落ち込んで

■鎌 教育に関心があり、市ホームページで全国学力調査の結果を見ました。全国や大阪市に比べると松原市は学力が低めだが、やる気はあつて、宿題も毎日している生徒が高いという結果が出ていました。学力は知識を活用する力だと思います。今は「放課後学習会」というのがあつて、テスト前だとか日々の学習とかできるみたいで、続けてほしいなと思つています。

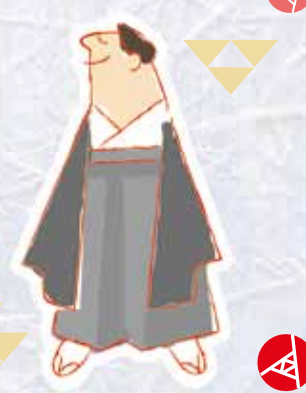
■山本 20歳になり選挙権をいただいたのですが、選挙や政治について恥ずかしい話、全然考えたことがなかった。「投票してください」と言われても、どこに行けばよいのか何を勉強したらいいのかかわからな

■小林 松原市に図書館が8つありますが、生涯学習に有効に使える環境の場にしてほしいと思つています。家の近くに市の図書館があるのですが、閲覧スペースが少ないです。あまり図書館にいて本を読もうという環境じゃないと思つています。

■山内 昨年消防署の西分署が新しく完成し、救急隊が増隊・救急力の強化により、一層市民の方の安全を守る事ができると思つています。今後、結婚して松原市で住むことを考えているので、安心して家族が生活できるかなとも思つています。

■丹下 松原市は、安心・安全なまちづくりを目指している市であるからこそ、誰もが理想としているまちづくりを目指してほしいと思つています。

●松原市に対して思ふことを教えてください



21世紀のまちづくりを考える

市では毎年、新年の幕開けに、新成人を市役所に迎え、澤井宏文市長、高阪俊造教育長とテーブルを囲み、将来の夢や抱負、また松原市に対するさまざまなご意見をお聞きしています。今回は松原市の新成人1,269人の代表として7人の方を市役所にお迎えしました。「21世紀のまちづくりを考える キラリ★はたちの夢&トーク」と題したこの催し。紙面の都合上、一部しかお伝えすることができませんが、今回いただいた貴重なご意見を今後の市政運営の参考とさせていただき、良好なまちづくりを一層進めていきます。



市長や教育長を囲んで意見交換が行われました

より良い生き方をしてほしい
教育長 高阪俊造

よく、「勉強しなさい」と言われるけど勉強はなんの為にするのでしょうか？

私は勉強というのは、自分の未来を切り開く為の武器や道具だと思っています。夢を現実にするための武器だと考えたいと思います。

例えば、中学校までは義務教育ですが、それからは学力がないと残念ながら上の学校に行けないのです。弁護士になりたいと思つても、中学で学校を辞めていたらなれないし、それ以上の選択肢はないのです。看護師なら、高校へ行って大学へ行って法学部に進むということになる。看護師になりたかったらその道の勉強をする選択肢があります。学力がないと選択肢がどんどん少なくなってしまう。選択肢を狭めないためにも勉強をしないとイケないと思つています。

それから人にとって良いことは、「より良い生き方をする」ということです。その中には職業の選択や結婚、住居などいろいろなことがあると思つています。

教育とは、「人がより良い生き方をつかみとるための力」です。最近よく言います。学校を卒業しても勉強や教育が終わりじゃないと思つています。生涯学習というだけあつて一生勉強ですから、少しでも人間性を高めることによって、より良い生き方をしてほしいと思つています。

この仕事をする、この仕事につくというのは到達点ではなく、より良い生き方をつかみとるための手段です。

皆さん20歳をきっかけに、それぞれの道で選択肢を広げながら頑張つてほしいと思つています。

大きな目標や志、夢をもって
松原市長 澤井宏文

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。今日は、二点お話しさせていただきます。

まず一点目は、20歳まで皆さんをしっかり育てていただいたご両親に対して、感謝の気持ちをきっちり伝えてほしいということです。

もう一点は、私からの激励の言葉として、皆さんはこれから社会にでて、いろいろと活躍をされていかれますが、大きな目標や志、夢をもって頑張つてほしい。すでに目標に向かって取り組んでおられる方も、今以上に目標を高く持つていただきたいです。

私の好きな言葉に「自分の思う以上の結果はない」という言葉があります。これは簡単に例をあげますと、富士山の山頂を目指したいという目標をもって登る人は限りなく山頂に近づける。もしくはその目標を達成できると思つています。しかし、最初から五合目ぐらいでいいと考える人は、おそらく行っても五合目どまりなんです。だからこそ私は目標は高く持つべきだと思つています。

また、山頂を目指した結果、山頂に行けなかったとしても、その努力というのは皆さんを成長させると思つていますので、自分の思いは常に高くもつてもらいたいと願つています。

そして、これから皆さんには、このご縁を機に、松原のまちづくりについても考えてもらえたら嬉しいですね。今後の日本や松原を担っていくのは皆さんです。ぜひそういう気概をもって、頑張つてもらえるよう期待しています。

若い方々が活躍できるように、松原市もしっかり頑張つていきますので期待してください。